



# 友愛の森(二中だより)

3月

学校教育目標

二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和6年3月1日発行



## 恩送り「自分の幸せ 自分たちの幸せ 社会の幸せ」

校長 望月 俊伸

令和6年度グランドデザインの中に、学校教育目標「二中文化を創造する生徒」の上に、「自分(たち)の幸せ」「社会の幸せ」という言葉を入れようと考えています。これは、二中文化を創造するのは何のためかを明らかにするためです。「二中文化を創造する生徒」とは、中学時代に限らず、将来社会に出てから活躍できる人、そして、幸せな人生を送ることができる人になってほしいという願いを込めて、新たに位置付けることにしました。これからの教育の在り方を考えると、一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するためには、多様な個人がそれぞれの幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものにしていくことが大切です。

さて、各学年のフロアーに今年になってから新聞が置かれているのを知っていますか？3年生の面接練習で、「最近のニュースで印象に残っているものは何ですか？」と質問をされていて、二中学生にもっと世の中の動きに関心をもってもらいたいと思うようになりました。ニュースを身近に感じるためには、いつでも新聞を手にとることができる環境を作ろうと考え、昨年末に新聞をとることに決めました。「ツタウェル」様のご厚意と、学校だより2月号でも紹介しました、「昭和33年度卒業生」の方々のご寄付により、生徒の皆さんに新聞を読んでもらいたいという思いは、すぐに形にすることができました。母校や後輩のことをいつも気に掛けてくださる応援団が二中には大勢いることは、本当にありがたいことです。3年生の皆さんは、4月からは同窓生となります。応援団の一員となり、これからも母校二中のことを温かく支えていただけたらと思います。

しかしながら、お世話になった学校に恩返しをするというのは、そう簡単にできるものではありません。親や恩師への恩返しは成長した自分の姿を見せることが何よりでしょうが、それには長い時間が必要です。

皆さんは「恩送り」という言葉を聞いたことがありますか？誰かから親切や善意を受けたら、それを相手に返すのが「恩返し」、それに対し、他の誰かに渡していくのが「恩送り」です。受けた恩を直接その人に返すのではなく、別のの人に送る。そして、それを送られた人はさらに別のの人に渡す、という考え方です。恩返しとは違い、相手を限定しない恩送りなら、今気付いた小さなことから始められますし、短い時間でもできます。

海外にも、恩送りに似た考え方があります。英語圏で言われる「Pay it forward」という考え方です。2000年に制作された「ペイ・フォワード(原題:Pay it forward)」という映画で、その言葉や考え方が世に広く知れ渡りました。ストーリーはこうです。

『11歳の少年トレバーは、社会科の授業中、担任のシモネット先生から「もし君たちが世界を変えたいと思ったら、何をやる？」と問いかけられる。悩んだ末にトレバーはあるアイデアを思いつく。それは、「ペイ・フォワード」。他人から受けた厚意をその人に返すのではなく、まわりにいる別の3人へと送っていく。ペイ・バックだと恩をそのまま直接その人に返すので、そこで終わってしまう。だから別の人に返していけば世界が変わっていくというものでした。1つが3つ、3つが9つ、9つが27、27が81...のように、幸せの輪が広がっていき、気付けば、街中のあちらこちらで恩送りが行われていきました。そして、恩送りが広まった街には、温かい人と人とのつながりが生まれ、街中に幸せがあふれました。』

私は、人とのつながりが感じられにくいこの時代だからこそ、富士宮二中を、温かな人と人とのつながりを感じることができる、優しさにあふれた学校にしたいと考えています。「恩送り」を実践することで、「人に親切にするのが当たり前」「優しさが二中の文化」と言える学校、誰もが幸せと感じる学校に近づけることができるはずです。もしあなたが、誰かに親切にされて嬉しいと感じたら、他の誰かに親切にしてあげましょう。そして、誰かから親切にされて嬉しいと感じたその人は、また他の誰かに親切にしてあげましょう。親切のリレーを学校中でつなげてください。そして、親切のリレーを学校の中だけでなく、家族や地域にも広げていけたら、きっと世界は変わり、幸せな社会が実現できるに違いありません。

今回が今年度最後の全校朝礼となりますので、間もなく二中を卒業していく3年生の皆さん、これから二中文化を創造していく1・2年生の皆さんに期待することとお話させていただきました。

## 生徒会本部役員主催の防災訓練（2月6日実施）



本校では、年に4回の防災訓練が計画されています。グランドデザインにも「命と健康を大切にし、健全な心身を培う学校創り」を明記し、「自分の命は自分で守る」意識を高めて、危機管理能力・自己管理能力を養いたいと考えています。

そのうちの1つに、生徒会本部役員が企画運営する防災訓練が毎年実施されています。昨年度は、不審者が学校に入ってきたことを想定した訓練が行われ、とっさに、どんな動きをしたらよいのかを考えて行動する機会とし、予告なしで行いました。

今年度は、体育館に集まっている際に、火事起きたという想定で訓練をしました。スモークマシンを用いて、発煙し、その中を生徒が身を低くして通るという体験をしました。

口と鼻をハンカチで押さえ、煙を吸わないように気を付けて避難しました。常に冷静に行動することができる中学生ですが、実際に災害が起きたときに、指示を待つのではなく、自分の頭で考えて、行動できる中学生でありたいです。

## 第2回学校評議員会（2月8日実施）

今年度2度目の学校評議員会が実施されました。4クラスの授業を参観していただいた後、学校評価の結果をお伝えし、学校評議員の皆様から、いろいろなご助言をいただきました。本校の強力な応援団で、とっても頼りになる皆様です。より良い二中を目指して、私たちと一緒に考えてくださいます。

いただいたご助言を基に、来年度も、グランドデザインの具現化を目指し、生徒の皆さん、一人一人が幸せな人生となるように、がんばっていきます。



## 1年生森林講座・薪割り体験（2月8日実施）



1年生が、森林講座で薪割りを体験しました。自分たちで作った薪は、来年度の自然教室で使う予定です。普段なかなか経験できないことなので、貴重な体験の機会となりました。素敵な笑顔がいっぱいでした。

令和5年度も、富士宮第二中学校の教育活動に、ご理解・ご支援をいただき本当にありがとうございます。今年度も、残すところ3月の1ヶ月となりました。3月19日に、令和5年度修了式、第77回卒業証書授与式を挙げる予定です。3年生には、次の新しい世界に胸を膨らませて、素敵な笑顔で富士宮第二中学校を巣立ってほしいです。今後も引き続きよろしくお願ひします。1年間ありがとうございました。